



横島小学校だより No.15 「考動」

※子どもたちが考えた造語「自分で考えて動く」意

【危機感を持って】

本来ならもうすぐ夏休みです。とあいさつするところですが、今年度は、今まで誰も経験したことのない夏が始まります。

新型コロナウイルスの予防を工夫しながら、熱中症対策もしていけないといけない状況にあります。学校でも職員でいろいろアイデアを出し合い対策を考えました。

今回は、その対策の紹介と SNS 利用についてのお願いを中心にお伝えします。

1 熱中症対策！



①クールタオル

子供達が首に巻いて暑さを軽減するための物です。一人1枚配付します。(国の補助金活用)

②経口補水液

脱水症状を緩和するのに効果がある、体に吸収しやすい飲み物です。学校に常備して、体調によって子供達に飲ませます。

③ランドセルなし登校

本来の夏休み期間は、教科書等の使い方を工夫して、ランドセル無しの登校を行います。

④体育服登校

体育服で登下校し、一日体育服で過ごします。もちろん汗を拭くためのタオルは必須です。

⑤5時間授業による同時刻下校

一斉下校ではありませんが、低学年を見守りながら帰ってもらうためです。

※現時点での対策です。学級便りで詳しく連絡があると思います。

2 SNS対策！



授業参観の際に「学校からの説明」の中でも少しお伝えしましたが、子供達のインターネット上での **SNS やゲームのトラブルが、社会問題化しています。**これは、都会の話ではなく、玉名市でも同じ傾向にあります。

本校でも最近高学年を中心に LINE でグループを作って通信している実態が分かりました。

もちろんこれからの子供達は、SNS を道具として有効に活用していく力は必要です。ただ、教育と一緒に進めていかないと悪い面が表面化してきます。

そして、この問題は、家庭や部屋の中を中心にネット上で進んで行くのです。

そこで、学校では、頭ごなしに禁止するのではなく、子供達に自分たちでルールを考えさせる取組を行っていきます。

ご家庭でも子供達にスマホ等を買って与えた責任として、どんな内容がやり取りされているのか子供達としっかり話をし、子供達が、大きなトラブルや事件に巻き込まれるのから守ってあげましょう。

以前も交換日記というものがありました。これも使い方を間違えると友だちへの誹謗中傷を書く場となっていました。ただ、交換日記は、それに参加している数名の中で完結することが多かったのですが、ネット上で発信した内容や写真は、社会に拡散していくのを止めることはできません。

まだ、大きな問題となっていない今のうちに学校と家庭が連携して、取組を進めていかないと大変なことになります。特に中心となるのは、家庭や子供達の部屋の中なので、家庭の役割は重要です。

